

高野新聞

Vol.88



たかの
高野 たけし

無所属 44歳

逗子市議会議員（4期）

- ・総務常任委員会委員長
- ・決算特別委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・総合的病院に関する特別委員会委員

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

◆実質単年度収支で赤字に

平成29年第3回定例会において、平成28年度の決算報告がありました。

標準財政規模に対する実質収支額の比率は3.9%であり、一見適切な収支の均衡が図られているように見えますが、事業の執行にあたっては前年度からの繰越金、さらには財政調整基金の取り崩しに頼っていたことから、実質単年度収支額は赤字となっています。

また、財政の硬直化を表す経常収支比率が100%を超えていることから、来年度以降は事業の見直しを図り、今まで以上に効率的な財政運営を行っていく必要があります。

こうした状況を踏まえ、平成30年度の当初予算編成にあたっては事務事業の廃止・凍結・縮小で約3億円を削減する他、国民健康保険料などの受益者負担の適正化、市有財産の売却、人件費の削減などをもって対応していくとの考えが市長より披歴されたところです。

＜財務比率の推移＞

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
平成28年度	3.9%	101.5%	10.2%	0.872
平成27年度	8.9%	96.4%	7.5%	0.864
平成26年度	7.8%	98.1%	7.2%	0.857

実質収支比率：標準財政規模に対する割合。

一般的には3～5%が望ましいとされている。

経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。

一般的には70～80%が望ましいとされている。

公債費比率：経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。

一般的には10%以内が望ましいとされている。

財政力指数：財政上の能力を示す指数。

この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

政治資金の残り

あと 76,936円

(6/1～9/30の内訳)

収入…給与から	100,000円
支出…ポスター制作	93,420円
ポスター掲示用両面テープ・結束バンド	6,746円

◆178事業で見直しの方針

財政状況の悪化を受け、市は緊急財政対策本部を設置し543の事業を対象に来年度以降のあり方を協議してきましたが、市長からの中間報告において178の事業を見直す方針が示されました。

対象となった事業の中には一定の成果を上げているものもありましたが、縮小や廃止をすることに対して疑問を感じるものも数多く含まれていました。

◆事業の継続を提言

中でも、少人数指導によるきめ細やか授業を行うための各公立小中学校（計13名）への指導員派遣や、児童・生徒の不安やストレスなどを和らげることを目的とした各小中学校（1名ずつ）への心の教室相談員の配置などは、これまでの成果を踏まえ継続に向け再考していただくよう申し入れたところです。

また、小学校6年生までの児童を対象に医療費を助成する事業においては、対象を未就学児童まで引き下げるとの市長の考えが披歴されましたが、事業内容拡大の経緯と必要性を鑑み、段階的な見直しへの変更を提案致しました。

◆さらなる削減で政策予算を捻出

その反面、約7%の変更見直しに止めるとしているゴミ焼却灰の資源化や、約18%規模の削減しか見込んでいない公衆浴場入浴助成券の配布などについては、市民サービスの優先順位の観点から、さらなる削減を図るよう提言致しました。

もちろん、議員報酬や定数の削減、政務活動費のあり方など、市議会として行うべき対策についても年内に結論を出せるよう議会の場で協議していくつもりです。

いずれにしましても、市民サービスへの影響を最小限に食い止められるよう、引き続き行政当局と議論を重ねていきたいと思っております。

どーなっているの？

市民の皆様からいただいたご意見、ご要望にお答えするコーナーです。

◆漂流ごみを回収し綺麗な水辺に

市民の方より、「逗子湾の葛ヶ浜付近に流れる水路に漂流ごみが多く溜まっているので何とかして欲しい」との要望があり、現地を確認。当該地は国道134号線の下を通る水路ですが、ごみ自体は水路の上流から流れてきたものではなく、潮に乗って海から流れ着いた物がほとんどではなかいと思われました。

この件について環境都市部に報告したところ、全ての漂流ごみに加え、134号線から磯に降りる階段付近のごみ等も全て回収され、周辺は自然を感じる空間に。潮の満ち引きが大きい日は家族で磯遊びをする人たちや、写真を撮る人なども多く見受けられる場所であるため、今後はより気持ち良く楽しめるのではないかと思います。



ごみの回収前
(左)と、回収後
の水路(右)



◆水たまり対策の効果に期待

海岸中央に位置する新宿6号地下道は市役所から海岸に続くシンボルロードの先にあり、海水浴場開設期間はもちろんのこと、普段から多くの人を利用する場所です。このトンネルは水捌けが非常に悪く、雨が降った後などは水たまりができて通行に支障をきたすこともあるため、市民の方から改善の要請を受けておりました。

市の職員と一緒に現地を確認したところ、水捌けの悪さに加え、134号線からの雨水の流入も原因の一つではないかと考えられました。そこで、まずはスロープの形状変化の前に雨水の流入を防ぐ改修工事を行うことに。今回の改修で効果が出ることを期待しています。



Topics

東洋経済新報社が全国の都市を対象に毎年公表している『住みよさランキング』の最新版が発表になりました。

これは、それぞれの自治体を持つ地域力を「安心度」、「利便度」、「快適度」、「富裕度」、「住居水準充実度」の5つのカテゴリーに分類しランク付けしたものです。逗子市は関東編で12位(全国73位)となり、神奈川県内では最上位にランクイン。昨年の関東編15位(全国86位)から順位を上げた今回の結果には嬉しく思います。

調査の対象は全国791市と東京23区と なっていますが、今年も全国ランキングの1位は千葉県の印西市。6年連続でのトップです。印西市は人口9万8千人のまちですが、「利便度」、「快適度」、「富裕度」の3部門で高評価を得ています。

本市の部門別ランキングでは、病院・一般診療所病床数(人口当たり)、介護老人福祉施設・介護老人保険施設定員数(65歳以上人口当たり)、出生数(15~49歳女性人口当たり)、保育施設定員数一待機児童数(0~4歳人口当たり)を計る「安心度」の評価が低いことから、この辺りがウィークポイントであると言えます。

数字で全てを表すことはできませんが、こういった結果も参考にしながら、引き続き魅力あるまちづくりを進めていければと考えています。

■「住みよさランキング」地域別
(関東)トップ20

順位	市区町村名 (都道府県名)	総合 評価	偏差値
1	印西(千葉)	1	59.38
2	守谷(茨城)	10	56.19
3	つくば(茨城)	12	56.06
4	成田(千葉)	15	55.76
5	神栖(茨城)	41	54.30
6	かずみがうら(茨城)	53	53.82
7	流山(千葉)	55	53.81
8	武蔵野(東京)	56	53.78
9	立川(東京)	59	53.67
10	太田(群馬)	64	53.59
11	那珂(茨城)	71	53.43
12	逗子(神奈川)	73	53.39
13	鎌倉(神奈川)	80	53.27
14	中央区(東京)	81	53.24
15	白井(千葉)	85	53.17
16	柏(千葉)	90	53.09
17	木更津(千葉)	91	53.09
18	習志野(千葉)	93	53.01
19	港区(東京)	96	52.93
20	土浦(茨城)	100	52.89

(注) (関東)の地域区分は、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368
E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp